

# 呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2010年1月～ 2023年12月の期間に当院にて膵がんと診断され、治療を受けた全患者さん			
② 研究課題名	抗がん剤治療を施行した切除不能膵がんにおける予後不良因子の検討			
③ 実施予定期間	2025 年 4 月 ～ 2027 年 3 月			
④ 実施機関	国立病院機構呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	吉田 成人	所属	呉医療センター 内視鏡内科・科長
⑥ 当院の研究責任者	氏名	吉田 成人	所属	呉医療センター 内視鏡内科・科長
⑦ 使用する試料・情報	<p>収集する診療情報は下記の通りです。 下記の情報をカルテより後ろ向きに収集します。 初診時患者背景(年齢,性別,身長・体重,BMI,発見の契機,パフォーマンスステータス,癌性疼痛の有無,閉塞性黄疸の有無,麻薬の必要性,肝転移の有無,腹膜播種の有無)、臨床検査結果(インボディー770による体組成測定,握力測定,CTによる腸腰筋面積の測定,CRP/Albratio, mGPSscore, PNI, mGNRI, CEA, CA19-9, SPAN-1, DUPAN-2, 癌の組織型)、臨床病期、抗がん剤の種類、予後など</p> <p>※上記診療情報は、研究終了後5年間もしくは、研究結果の公表後3年間のいずれか長い期間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は当院の研究担当者が情報を取り扱い適切に保管します。</p>			
⑧ 目的	癌の治療において遺伝子パネル検査とその臨床活用が進められています。基本的には、使用できる抗がん剤がなくなった時点で検査が行なわれますが、膵がんでは、それでは間に合わないことも多いです。膵がんの予後を予測することができれば、検査提出時期の決定に貢献できる可能性があります。また、抽出した予測因子を改善することで、予後を改善できる可能性があります。			
⑨ 方法	「①該当者」の対象患者さんについて、「⑦使用する試料・情報」に記載した診療情報を電子カルテより抽出し、データ解析を行います。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2025 年 4 月 24 日		
	院長承認日	2025 年 4 月 24 日		
⑪公表	個人情報保護の観点で、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	山口 厚	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構呉医療センター 臨床研究部			

呉医療センター院長